


## ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	特定非営利活動法人 大山捕獲隊		
団体の所在地	兵庫県篠山市	代表者名	西牧正美

1. 事業名	篠山地域連携特定外来種捕獲事業
2. 実施期間	平成 28 年4月1日～平成 29 年3月 31 日
3. 主な実施場所	兵庫県篠山市域及び近隣
4. 活動形態	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境パートナーシップ事業（協働団体名：兵庫県森林動物研究センター）</li> <li>・その他（後方支援：篠山市・篠山市猟友会・社）ウイズささやま・近隣自治会協働）</li> </ul>
5. 活動内容・結果 （参加者、階層・人数等）	<p>①通年にわたり、捕獲活動を実施しております。</p> <p>②これまでに通算 194 頭のアライグマを捕獲しており、これまで頻発していた被害も序々に減り、特に農業被害については喜ばれています。</p> <p>③また、これまで山奥に追いやられていた在来の野生動物も姿を現すようになり、生物多様性における生態系も戻りつつあるようです。</p> <p>④参加者は、隊員がコアになって進めておりますが、地域の住民の人達。特に被害に遭われたり、身近で目視をされて緊迫感を感じられた方々に、活動の一端を担ってもらう場合や、自主的に参加いただく場合が多くなっています。</p>
6. 成果・反響・ 反省点等	<p>①当隊に『安心と安全は人任せにしない』と云う合言葉があります。</p> <p>②『誰かがやってくれる』と云うのは、結局は誰もやらないことで、獣害に負けてしまうと、もう人力では取り返しがつかないこととなります。</p> <p>③獣害に対する捕獲活動を進める場合、単独行動では個別完結型の捕獲に終わり、成果があがりません。地域のみんなで捕獲計画を立てて、連携捕獲を目指すのが良いと考えます。端的には、こちらから追って向うで捕えると云うことです。</p>
7. 成果物	<p>①捕獲した個体 194 頭のデータ(10 項目)を採集しており、現在、有識者の間で分析が行われており、近々に『兵庫のアライグマ』が見えて来る予定です。</p> <p>②月刊活動報告を作成して、地域の皆さんに周知情報として発行しています。</p>
8. 活動写真 説明	<p>『アライグマの繁殖力は、想定を超えています。』</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>